



人生も事業もサクセス！



# 人生の企画・事業の企画

2017年09号

**LC= LC × 3R × 3H × 2A × 1C × Op**

人生	環境	資源	健康	行動	機会	運用
ライフ サイクル	ライフ サイクル	3つの 基礎資源	3つの 健康資源	2つの 日常行動	チャンスを モノに	運用の レベルは

# 10年区切りで人生を考える

## ■自分のライフサイクルを考える

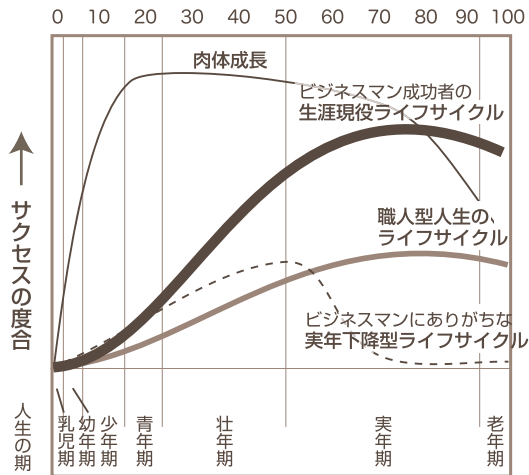
ライフサイクルは本来、生物学用語で、『生物が生まれてから死ぬまで』のサイクルを意味します。

これが最近では商品や事業、さらには会社や業界までがライフサイクルで論じられるようになってきました。

人間の場合は、乳児期、幼年期、少年期、青年期、壮年期、実年期、老年期、と齢を重ね、最後に死に至ります。

下の図には概念的なライフサイクルを曲線で示してあります。生涯現役か、晩年は静かに過ごすか、どちらが充実した人生かは、それぞれの価値観によるでしょう。

自分の人生はどんな曲線を描きたいか、右図のフレームの中に入れてみましょう。



「人生の期」は、蓄積期、成長期、事業期、統合期…など、自分の人生の状況をイメージできるような名称をつけるのがいいでしょう。

## 10年ピッチでフレームを描く



10年ピッチでフレームを描く	～10年	～20年	～30年	～40年
人生の期				
人脈の収支 資産の収支 知識の収支	+			
この期における過去の考え方やこれからの行動目標など (スタートは現在からでも過去からでもよい)				

< 記入例 >

今あなたが40歳なら、これからの人生を10年ごとに区切ります



10年ピッチでフレームを描く	～10年	～20年	～30年	～40年
人生の期				

# 最初の3年を考える

10年という単位での人生企画をすすめています、あまり長すぎて「10年後のことはわからない…」といった気持ちになりがちです。しかし、たとえ漠然とでもいいから、長期を考えておくことは大切です。

10年の事業企画は企画というより、ビジョンや夢、理念などに近いものです。しかし、ビジョンや夢がなければ事業はできません。そしてもちろん現実的な対応もぬかりなく行ってゆきます。

事業においては、ビジョンや夢を踏まえ、長期を5年、中期を3年として実現を考え、1年の短期を必須の目標として徹底的に頑張ることになります。

また、スピードの早い時代で長期3年、中期2年、短期1年とする会社も多数あります。

人生企画も具体的には3年程度の長期（中期）目標の設定が重要です。現在はドッグイヤー（人間の1歳は犬の7歳に相当）といわれるほど変化が激しい時代ですから、3年の目標をしっかり立て、実現して行くと10年たったら別人のような成長をしていることでしょう。

## ■まずは10年を3分割

例として、最初の10年を技能資源の成長、つまりキャリアアップをテーマとしたなら、最初の3年を学習期（徹底学習と実行）、次の3年を実行期（徹底的に具体化する）、最後の3プラス1年を統合期として位置付けてみます。

キャリアを磨き、業界や会社でのある分野においてナンバーワンを目指すのもよいでしょう。

料理人を目指す人など、3年ずつ有名店の下働きをしたり、経営者を目指して営業職、経理などを職種別に異動、転職する人もいます。明確な目標をもった3年としましょう。

さて、右図の「3年後の目標設定」を埋めてみましょう。（自分流で結構です）

## 3年後の目標設定

今後10年間の  
基本方針

3年後の目標

技能目標  
キャリア  
知識習得目標

人脈目標

資産目標

生活目標

その他

# この1年の行動を考える

3年の目標をいくらしっかり立てても、まだ概念的な部分が多いでしょう。そこで最初の1年の具体的な行動を設定してスケジュールに落とし込みます。

そして実行したかどうかを必ずチェックします。

1年は1ヶ月がわずかに12回、週にして52週しかありません。あっと言う間に過ぎてしまう時間です。

目標を立てて実行しても、ほとんど遅れ気味になるのが普通でしょう。あまり遅れることが多いので、多くの人はあきらめてしまいます。もちろん、目標を立てず、実行もしない人は、遅れに気づくことすらないわけで、それよりはマシかもしれません。

まずは頑張って確実に実行した人のみが、成功できるのです。

スケジュールは毎日の実行レベルにまで落とし、1日ごとに確認反省する方式をとるとよいでしょう。やり残しがあれば翌日、確実にリカバリー（回復）するなどして、とにかく達成することを心がけます。この努力を続けていれば、ある日、自分のスキルが以前よりも格段に向上していることに気づくでしょう。

『雨だれ石を穿つ』『継続は力』という諺があるように、やはり日々の蓄積が大切なのです。

さて、右図の「短期計画を立てる」を埋めてみましょう。（自分流で結構です）

## 短期計画を立てる

今後3年間の  
基本方針

1年後の目標

1年の目標設定は、すべて具体的な行動目標とし、最終的には手帳などのスケジュールに落とし込む

1年後の自分の目標

1年後の会社の目標

行動目標設定

技能目標

キャリア  
知識習得目標

人脈目標

資産目標

生活目標

その他